



ごあいさつ

校長 鈴木敏之

同窓会員の皆様方には、益々御健勝にて御活躍のこととお慶び申し上げます。

日頃は、鈴木会長様を始め、役員、理事、会員の皆様方には、本校の運営に格別の御理解と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、私は、昨年度まで副校長職にありましたが、この度、本年4月1日付けで校長職を拝命することとなりました。今までの経験を活かしつつ、校長として気持ちも新たに本校の発展に努めてまいりますので、皆様方の変わらぬ御支援と御協力をお願い致します。

まず、農大の近況を報告させていただきます。平成24年度卒業式を3月7日(木)に行い、農学科88名、研究科9名が新たな進路に進みました。それら卒業生の主な進路は、就農が50名と一番多く、次に種苗会社や農協など農業関連企業への就職が23名、本校研究科等への進学は

7名でした。特に、農業法人への雇用就農が29名と多くなりました。そのほとんどが非農家出身の学生です。農業基盤を持たない学生にとっては、農業法人は就農を実現できる有望な進路先になっていきます。本校学生はいずれも、卒業後は身につけた実践的な技能や知識を活かしていきたいと切に願っています。同窓会の皆様方にも機会がありましたら、農大生が活躍できる進路先の確保にお力添えをお願い致します。

続いて、4月11日(水)に平成25年度入学式を行い、農学科85名、研究科7名の入学生を迎えました。これにより、在校生名となり、今まで同様に、賑やかなキャンパスとなりました。昨年度の農学科入学生は72名とその前年度、前々年度に比べ20名ほど減っており、今後の入学者数の推移を懸念していました。幸いにして、本年度は、80

名を超える入学生を確保することができました。最近の食や農業への関心の高まりの中にあつては、農業に関わっていきたいと考えている学生や社会人は、ある一定数は存在しているのではないかと思います。このため、継続的に学生数を確保していくには、本校の知名度を一層高め、本校の魅力を広く伝えていく積極的な取り組みが必要と考えています。既に平成26年度入学生の募集活動を始めていますが、例年と同様に、農業高校を始め県内高校の7割を超える約160校の高校を訪問し、

学生募集を働きかけるのと併せて、昨年度から始めた月刊「農大だより」のHPへの掲載など積極的な情報発信に取り組んでいます。加えて、今年も新たに、同窓会の御支援をいただきまして、学生達のアイデアを用いて、より多くの方に関心を持ってもらい、本校の魅力や姿が良く伝わる親しみやすいパンフレットを作成し、各方面に配布することとしました。会員の皆様にも本校のPRに御協力いただければと思います。

今年も9月上旬から農学科2年生の40日間に渡る農家派遣実習が始まっております。農大とは異なる環境で、実際の生産現

場での農作業や農家生活を实地に体験し、先進農家の農業経営に対する直向きな姿勢や考え方を直に学ぶことができる教育効果の高い実習と考えます。多くの同窓会の会員の方々に受入農家として大変お世話になっており、心より感謝申し上げます。

次に、今年の農大祭ですが、昨年度と同じく12月の第1土曜日に当たる7日に開催いたしました。昨年の農大祭では、東日本大震災の被災地の復興を支援したいとの学生たちの強い思いから、新たな企画として、被災地域3県の農大生を招聘し、農産物販売や交流会などの支援イベントを開催しました。マスコミにも取り上げられ、天候にも恵まれたこともあつて、5千人もの多くの方に来場いただき、例年にも増して盛大に開催することができました。学生達は夜遅くまで準備に励み、農大生ならではの団結力を遺憾なく発揮して、農大祭を成功に導きました。学生達にとって良い経験となり、自信を深めたものと思えます。同窓会の皆様には、協賛金を始め多くの御支援をいただきありがとうございます。今年

の農大祭も、学生会を主体に農大職員も協働して企画・準備を進めておりますので、御支援を

お願いいたしますとともに、皆さんの御来場をお待ちしています。

来年度は、いよいよ80周年記念大会が開催されます。10年に一度、同窓会の会員が一堂に会する意義深い大会です。本校としましても、本大会が盛大に開催され、会員相互の連帯、親睦が一層深まりますよう、積極的な支援に努めてまいります。

農大の最大の特徴は、ここで2年間学習すれば、農業者として必要な技能を確実に習得することができ、ことにあります。が、そのような実践教育ができる教育機関は、他にはなく、農業者の高齢化が加速化している状況も考え合わせますと、本県農業を支える優秀な人材の養成という本校の使命は一層重要と考えます。この使命を遂行するため、教育現場重視の視点で常に創意工夫や改善を図りながら、教育内容の充実や円滑な学校運営に努めてまいりますので、同窓会の皆様にも一層の御支援をお願い申し上げます。

会員の皆様方の更なる御活躍と御繁栄を心より御祈念申し上げます。あいさつとさせていただきます。